# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

集計日：令和6年　2月　6日　　事業所名　　ティンクルスター2

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | 子どもたちの意欲や希望を安全面に配慮しながら臨機応変に対応するよう心掛けている。 | 全体を意識して、死角等なく配置を行っていき、安全面を強化していく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 1 | 役割や状況に応じて配置を行っている。 | 全体を見て動く等、全職員が状況判断して行動が行えるよう強化していく。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 0 | 6 | 階段がある為、細心の注意を払い、危険がない様に対応を心掛けている。 | 危険個所などを把握、改善を常に意識をして行っていく。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | 0 | ミーティングにて、状況把握が出来るようにしている。支援記録等に利用者の個々の目標を明記して、常に意識して支援を行えるように努めている。非常勤職員にも同様に申し送りや連絡帳を活用している。 | 常勤、非常勤に差がなく、徹底して周知を行えるようにしていく。また、指導員の得意分野等に合わせて個々の特性に合った支援を充実させていく。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | 0 | 自己評価と共にアンケートを行っている。その都度の意見では、検討、改善へと繋げている。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | ホームページにて公開をしている。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 6 | | 現在は行っていないが、義務付けがあれば行っていく。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 0 | 社内、社外共に行い、得た情報等を情報共有し、支援へ活かしている。 | 今後も継続して機会を設けていき、多くの職員が行えるように努めていく。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 保護者様との面談や指導員からの情報を元に、適切な計画の作成に努めている。 | 多くの人が関わることで、広い視野も持って行えるようにしていく。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 0 | 月ごとのプログラムを作成している。年齢に合わせて、適切な活動を提供していけるように努めている。 | 活動に積極的に参加が出来るような内容を提供できるよう努めていく。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 0 | 活動を書面化し、固定化されないように把握が出来るようにしている。 | 幅広く活動が行えるよう、日々試行錯誤していく。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 0 | 個々の課題や目標に沿った支援を意識して行っている。 | 個々の様子の変化等に合わせて適切な支援を行えるよう努めていく。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 多方面からの情報を元にご利用者様の特性や困難さに合わせた計画の作成を努めている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 0 | 毎朝、役割分担や情報共有を行い、円滑な支援を行えるように努めている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 0 | 緊急性のあるものに対しては当日共有、改善を行い、その他は翌日のミーティングにて、振り返りを行っている。非常勤職員へ当日の申し送りや連絡帳を通じて周知を行っている。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 支援記録に、個々の目標を記載し、目標に沿った支援内容を知ることが出来るように意識をしている。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | 定期的にモニタリングや必要に応じて対応を行っている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 6 | 0 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | 児発管が中心となり、参画している。 | 他の指導員の同席も増やしていき、視点を増やして行えるように努めていく。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 6 | 0 | 保護者様の同意を得て、保護者様や学校の先生と連絡を取りながら間違いのないよう努めている。予定を書面化したもの保護者様と学校へ配布し、相違がないように努めている。また、ミーティング時に予定の変更があったものの確認を再度確認を行っている。 | 予定変更の確認を繰り返し行うことで、相違がないように努めていく。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 3 | 3 | 該当する児童は通われていない。 | 今後必要に応じて対応をしていく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 3 | 保護者様からの聞き取りを中心として、把握に努めている。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 5 | 就労移行サービス事業所との直接のやり取りはない。ご利用者様や保護者様の情緒面の安定を支えられるよう努めていく。 | 保護者様との連携を図りながら必要に応じて対応をしていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 5 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 6 | 機会を設けていない。 | 要望などがあれば、検討をしていく。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 0 | 6 | 参加をしていない。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | 送迎時や連絡ノート等で、当日の様子を伝えている。必要に応じて、電話での対応も行っていく。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている | 6 | 0 | 保護者様からの要望に応じ、個々の相談に応じている。また、毎月配布している通信にて、家庭でも出来る取り組みを掲載している。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 見学時や、契約時に説明を行っている。 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | 送迎時や電話でその都度必要に応じて対応をしている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 6 | コロナウイルスは緩和されてはきているが、安全性を考慮し現状は開催していない。 | 状況に応じて開催を検討していく。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | 苦情に対して、事実確認や今後の対策等を話し合い、入念に改善へと努めている。 | 繰り返し起こらないよう対策をし、十分に話し合いを行っていく。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 0 | 毎月、通信や月ごとの活動予定、行事予定を配布をしている。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | 鍵付きの書庫を使用し、個人情報漏洩防止を行っている。個人情報が記載されているものの処理をシュレッターなどを用いて厳重に処理をしている。 | 名前の記載のあるメモ書きや封筒などの処理も適切に行い、意識を高く持ち、漏洩がないよう務めていく。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 送迎時以外にも、メールや電話、手紙等を活用している。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | 行っていない。 | 個人情報の兼ね合いで行っていない。保護者様の要望があれば検討をしていく。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | 0 | マニュアルを作成して職員間で周知をしている。保護者様へは紙面で配布を行っている。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 0 | 年2回実施をしている。訓練後は、災害時に役立つ工作やクイズ、映像を見る等利用児童が興味を持てるような活動を行い、理解を深めている。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | 外部研修、内部研修を行い、マニュアルを作成して周知できるようにしている。 | 継続して研修などを行っていき、理解を深めていく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 0 | 該当児童はいないが、研修などを通じて理解を深めている。マニュアルを作成し周知を行えるようにしている。 | 研修等を行っていき、理解を深めていく。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 0 | 保護者様から聞き取りを行いアレルギーのある利用者様の食品を提供する際は、別の袋や箱等に保管をしている物を提供し、最善の注意を払い提供を行っている。 | アレルギーの診断のない児童に対しても、摂取時に様子の変化、体調の変化がないかを注視していく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | ヒヤリハットのノートを作成し、全体で周知している。 | 多くの気付きを持ち、視点を広く持つことから安全性の強化へと繋げていく。 |